



2014年12月22日

各 位

会 社 名  日医工株式会社

(証券コード 4541 東証第1部)

代表者名 代表取締役社長 田村友一

お問合せ先 社長室長 東満之

TEL 076-442-7026

富山大学大学院医学薬学研究部(薬学)との共同研究を目的とした寄附講座
「製剤設計学講座」の設置について

当社は、50周年記念事業の一環として、富山大学大学院医学薬学研究部(薬学)との共同研究を目的とした寄附講座「製剤設計学講座」の設置について合意致しましたので、お知らせ致します。

記

1. 寄附講座「製剤設計学講座」の目的について

日医工グループは、製剤開発の段階より患者様や医療関係者等の立場に立ち、服用性や使用性の向上等、独自の製剤工夫を取り入れた、より利便性が高く、より優れた高品質のその先の「超品質」な医薬品開発を常に目指しております。そのために、製剤技術に力を入れたいとの思いから、技術的な支援を受けていきたいと考えております。

一方、富山大学薬学部においては、製剤技術に関する教育・研究レベルの向上、富山県の製薬企業の製剤技術レベルのさらなる前進、富山大学から輩出される学生の製剤学に関する知識および技術レベルの飛躍的向上、国内外における富山県(薬都富山)の認知度のさらなる上昇などに大きく貢献することが期待されます。

2. 寄附講座「製剤設計学講座」の期間と主な研究・教育内容

期間：2015年4月から2020年3月までの5年間

研究・教育内容

1) 実際の製剤開発・製造現場から研究課題を抽出し、統計的・計量化学的手法や分子イメージング技術を駆使して、製剤研究における実学研究発展への貢献を目指す。

- 2) 製剤設計技術に関する先端研究を推進し、当社との共同研究を展開させるとともに薬都富山のさらなる活性化に貢献する。
- 3) 「製剤研究」を共通項として、様々なバックグラウンド（企業・大学・医療機関など）を有する人々が交流できる研究拠点の構築を目指す。
- 4) 将来の富山県の医薬品業界を担う有能で魅力的な製剤研究者の育成を行う。

「製剤設計学講座」は今後、薬都富山の核となるものと考えられ、富山県の産官学連携のさらなる強化につながることが期待できます。

以上